

議員と語ろう会 実施報告書

日時	令和7年11月29日(土) 13:00 ~ 20:00
会場	昼:本荘公民館 夜:イコッサ
団体名(参加人数)	6名(本荘:1名、イコッサ5名)
参加議員	卯目(リーダー)、青楓 見澤
<p>【意見交換の内容】</p> <p>○農業生産者の高齢化や後継者不足の課題に向き合いながら、集落営農に取り組んでいる。しかし、集落営農の人手不足や後継者不足も今後、深刻な問題になっていく危機感がある。</p> <p>○農業収益をどうあげていくか、いろいろ模索しながら取り組んでいる。例えば、販路拡大で、農協、直売所、個人販売など試行錯誤しながら売り上げを確保している。</p> <p>→お米を生産するとともに、販売経営に力を注ぐことは理解できますし、大切な事ではないかと思う。人手不足は深刻な問題で、市としても重要課題の一つである。</p> <p>○学校給食で地元食材を使用したいが、課題が多くあることも理解できるが、改善策はないか。</p> <p>→生産量の確保や予算の事も考えると、現状では厳しいと思う。</p> <p>○湯布院での体験を通してあわら温泉でも、その地元生産者との高循環を取り入れられないか。</p> <p>→九州地方の先進的な取り組みは参考になるが、文化の違いもあり難しい面もあるが、そういったエネルギーは、多めに参考にすべき事である。</p> <p>○議員定数は、なぜ減らさなければならないのか。</p> <p>→人口減少に伴い、税収も減っている。ただし、市民の声が届かないという面も考えると同時に、議員の資質向上にも努めていかなければならない。</p> <p>○創作の森や自然環境を活かして、何か展開できないか。たとえば、テラス、ログハウスなどを融合できないか。移住にも繋がっていく事にはなるのではないか。</p> <p>→重要なお指摘だと思う。駅前のマクドナルド進出の話も交え、今後、民間と行政が手を組んで政策を進めることが大事。また、青年世代に対して、行政の後押しも大切なことではないか。</p> <p>○あわらトリムパーク、テニスコート周りの樹木の伐採はできないか。木があるため見通しが悪くなり観戦しづらいことや、クマに対しての恐ろしさもある。</p> <p>→市が管理しているので、直ぐ対応策を話してみる。</p> <p>○区において、災害備蓄品が不足しているように思う。また、非常食、水などの期限切れについては、どうすればいいのか。また、市全体のストックは大丈夫か。市民への備蓄品の周知が低いのではないか。市民に安心感を持たせてほしい。</p> <p>→ネット、広報紙など考えらえる媒体で、もっと市民に周知していくべき。自主防災の見直しや、安否確認の対応も大切な取り組みのひとつであり、住民や泊り客の事も考え、今後より一層、安心安全なあわら市を目指し、取り組んでまいります。</p> <p>○物価高も考慮していただき、金津祭りの予算増を考えていただけないか。</p> <p>○伝統的な祭りを今後どう継承していくのか。市の明確なビジョンはもっているのか。</p> <p>○市の予算配分の考え方として、重点箇所を決め、そこに集中していくことはできないのか。</p> <p>→金津祭りの伝統文化を守り、育んでいく姿勢が大切ではないか。</p> <p>【所感】</p> <p>市民の皆さまとの実りある語る会でした。あわら市への思いや、良くしていきたいという、お気持ちが伝わりました。ご意見を真摯に受け止め、ご要望を今後の議員活動に活かして参ります。</p>	

令和7年12月7日

あわら市議会議長 様

作成者 見澤 勇三